

総合計画審議会での基本構想(素案)に係るご意見・ご提案に対する事務局案

No.	内容区分	ページ	ご意見・ご提案の内容	ご提案・ご意見に対する考え方・対応
1	らしさ	6	タイトル「長野市らしさ」に「～強みと弱み～」と副題を付けたらどうか。	「長野市ならではの強みを活用して更に魅力を高めるとともに、課題には正面から向き合うことで将来への可能性に転換し、長野市らしいまちづくりを推進するための共通認識として、本市が有する強みや可能性を掲げる」こととして、見出しを「長野市らしさ(強みと可能性)」に修正する。
2	その他	6・7	この課題が本来ならば可能性をたくさん秘めているということであって、これが一つひとつ実現されることが「幸せ実感」というところに全てつながっている財産だと思う。	
3	らしさ	6・7	「課題がある」ではなく、前向きに「課題はあるが、〇〇について取り組む必要がある。」にしたらどうか。	上記の考え方に基づき、「〇〇の可能性を有しています。」と表現を統一する。
4	らしさ	6・7	「課題がある」「課題を有する」「課題を抱える」を統一したらどうか。	
5	らしさ	6・7	場合によって、裏づけデータが必要でないか。	根拠に基づく記載に努めるとともに、可能な限り客観的表現に修正する。
6	らしさ	6・7	長野市民の人間性(穏やか・受身)を入れてみてはどうか。	客観的データを探したが、明確な根拠となるものがなかったことから、現状のままとする。
7	らしさ	6	⑦「特に冬季は晴天の日や日照時間が少ない傾向にある。」は削除してもよくないか。	「特に冬季は晴天の日や日照時間が少ない傾向にある。」は削除の上、「季節風の影響を受けにくいため年間を通して湿度が低く、寒暖差が大きい中央高地の気候ですが、日本海側の気候の特色も併せ持っています。」に修正する。
8	らしさ	6	⑦「寒暖」は「寒暖差」でないか。	
9	らしさ	6	①「飯縄山や戸隠山等」⇒「戸隠連山」でないか。	戸隠連山とした場合、飯縄山や戸隠山のほか、新潟県側の妙高山なども含む場合があることから、「飯縄山や戸隠山等」のままとする。
10	らしさ	6	②多くのことに当てはまるが、物事には様々な見方があり、「豊かな自然」は強みだけでなく、弱みや課題となる場合もある。	「豊かな自然は、適切に保全しながら観光交流や子育てなど、幅広く有効に活用できる可能性を有しています。」と修正する。
11	らしさ	6	②「豊かな自然の」⇒「豊かな自然を」に修正してはどうか。	
12	らしさ	6	都市機能の集積について追加できないか。	「都市としての機能」として、資料のとおり追加記載する。

No.	内容区分	ページ	ご意見・ご提案の内容	ご提案・ご意見に対する考え方・対応
13	らしさ	6	④「新幹線金沢延伸により通過都市となる懸念」は確かにあるが、延伸によって人は減っていない。かえって長野は増えている。通過ということは一貫して否定してきており、通過都市という言い方を考え直してほしい。	「交通の要衝」としてまとめ、「平成27（2015）年3月の新幹線金沢延伸により、観光・経済などの面で北陸地方との交流が活発になってきており、更なる広域的な連携強化や交流の推進につながる可能性を有しています。」に修正する。
14	らしさ	7	⑤スペシャルオリンピックスを入れられないか。	「平成10（1998）年のオリンピック・パラリンピック冬季競技大会や平成17（2005）年のスペシャルオリンピックスの開催により～」に修正する。
15	らしさ	7	⑥「有形無形の財産の活用」⇒「更なる活用が求められている」とできないか。	「～開催により、世界的な知名度を有しているとともに、冬季スポーツ競技の大会を開催できる施設や高いボランティア意識など、有形無形の財産も有しています。」に修正する。
16	らしさ	7	産業面での記載を入れたらどうか。	「産業の構造」として、資料のとおり追加記載する。
17	らしさ	7	産業面では長野市らしさが記載されていないと思う。例えば農作物といえば、果物が長野市の特長であると思うし、加工面では食品産業が盛んであるということもあると思うので、検討してほしい。	
18	らしさ	7	特に長野市の場合は健康食品として、きのこや味噌など、日本のトップクラスのものがある。そういった切り口からいくと長寿もあるし、長野市らしさを発信しやすいと思う。	
19	らしさ	7	⑩の都市内分権については、課題だと言われている案件でもある。	「この仕組の課題を解決し一層充実することにより、～まちづくりの推進につながる可能性を有しています。」に修正する。

No.	内容区分	ページ	ご意見・ご提案の内容	ご提案・ご意見に対する考え方・対応	
20	将来像	13	「幸せ実感都市 ながの」だけでいいのではないかと思います。長野市民が、長野市は幸せを実感できる都市を目指しているんだな、私は何をしなければいけないのかなという旗印になる気がする。 など多数	「人口減少社会、成熟社会が到来した現在、序論で整理したように本市が有する優位性を活用しアドバンテージを発揮しながら、抱える課題を可能性に変え「長野市らしい魅力ある」まちとして、歩み続けていくことが必要となっている」ことを前提に、「追求」を包括する意味合いで「実感」を用いて「幸せ実感都市 ながの ～“オールながの”で未来を創造しよう～」とする。	
21	将来像	13	幸せの「実感」なのか「追求」なのか、議論が必要でないか。		
22	将来像	13	一人ひとりが、10年後、幸せな長野市に住んでいるなど感じ取れるような長野市を目指すということなので「追求」という言葉も包括していると捉えればよいと思う。		
23	将来像	13	「魅力ある産業」という言葉があるが、産業だけでなく、いろいろなものに魅力があって、いろいろな方が長野に来ていたり、定住していただいたりすることを目指すという意味で、魅力をもっと発信しなくてはいけないと思うので、「魅力」という言葉もいれられないかなと思う。		
24	将来像	13	将来像の案3の理由にある「本市が抱える強み」は「持つ・有する」でないか。		「本市が有する優位性を活用し～」に修正する。
25	その他	3	本計画の基本構想については、長野市議会の議決すべき事件に関する条例に基づき～年～月議会の議決を経た、という言い方でよいのではないか。		「本計画の基本構想については、長野市議会の議決すべき事件に関する条例に基づき、平成29年 月市議会定例会において議決を経ました。」に修正する。
26	その他	5	「質から量」といった「ハードからソフトへの転換」は整理してほしい。		『「量から質」や「ハードからソフト」への転換』に修正する。
27	その他	25	各分野の始めにキャッチフレーズが入っていて、これは各部会で決定しているということだが、それぞれが「〇〇なまち」という言葉になっているが、先ほどの「オール長野」という考え方でいくと「長野」だけあれば、「まち」はいらないのではないか。	資料25ページのとおり、『〇〇なまち「ながの」』とし、統一感を出していきたい。	